

# 手術部

## 1 構 成 員

	平成23年3月31日現在
教授	0人
准教授	1人
講師(うち病院籍)	0人 (0人)
助教(うち病院籍)	2人 (2人)
助手(うち病院籍)	0人 (0人)
特任教員(特任教授、特任准教授、特任助教を含む)	0人
医員	0人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生(うち他講座から)	0人 (0人)
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員(教務職員を含む)	0人
その他(技術補佐員等)	0人
合計	3人

## 2 教員の異動状況

白石義人(准教授、部長) (H15.07.01～H19.3.31 助教授；H19.4.1～現職)

森田耕司(助教) (S53.4.16～H19.3.31 助手；H19.4.1～現職)

中川智恵子(助教) (H18.10.1～H19.3.31 助手；H19.4.1～現職)

## 3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成22年度
(1)原著論文数(うち邦文のもの)	3編 (2編)
そのインパクトファクターの合計	3.08
(2)論文形式のプロシーディングズ数	0編
(3)総説数(うち邦文のもの)	4編 (4編)
そのインパクトファクターの合計	0.00
(4)著書数(うち邦文のもの)	4編 (4編)
(5)症例報告数(うち邦文のもの)	1編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.84

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共

同研究)

1. 秋永智永子, 谷口美づき, 白石義人, 佐藤重仁: 妊娠中の非産科手術の麻酔: 妊婦が脳血管障害を発症したら 麻酔 59(3): 328-337, 2010 【麻酔科学】
2. 平田哲, 吉中平次, 木村青史, 白石義人: 手術画像撮影の管理と院内の合意 手術医学 31: 37-40, 2010 【手術医学】
3. Kurita T, Takata K, Morita K, Uraoka M, Sato S: The influence of endotoxemia on the electroencephalographic and antinociceptive effects of isoflurane in a swine model, Anesthesia and Analgesia 1;110(1):83-8, 2010 【麻酔科学】

インパクトファクターの小計 [ 3.08 ]

### (3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 白石義人: PCA ポンプの特徴と使い方—シリンジクター○R(大研医器株式会社)—. 日臨麻会誌 30: 830-835, 2010 【麻酔科学】
2. 白石義人: PCA ポンプの特徴と使い方—バクスターインフューザー PCA システム (バクスター社)—. 日臨麻会誌 30: 836-841, 2010 【麻酔科学】
3. 白石義人: acute pain service とは. LISA, 18(3): 254-257, 2011 【麻酔科学】

インパクトファクターの小計 [ 0.00 ]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. 横田美幸, 坂本篤裕, 白石義人, 入田和男, 澤智博, 釘宮豊城, 中馬理一郎, 多田恵一, 河本昌志, 世良田和幸, 西脇公俊: 医事紛争ゼロを目指して, 日本麻酔学会冊子, 2010, 【麻酔科学】

インパクトファクターの小計 [ 0.00 ]

### (4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 白石義人: 術後管理における PCA の上手な使い方. 第 5 章 PCA ポンプの特徴と使い方, 臨床麻酔実践シリーズ 4, 岩崎寛, 佐藤重仁 編 ライフメディコム, 東京 pp42-56, 2010, 【麻酔科学】
2. 白石義人: 麻酔科トラブルシューティング A to Z I - V 「術前、血液・止血凝固系機能」高崎眞弓 他 (編) (株) 文光堂, 東京 160-161, 2010. 【麻酔科学】
3. 森田耕司, 第 1 章 コンピュータの基礎, 日本医療機器学会 MDIC 認定委員会, MDIC 標準テキスト 医療情報・標準化 (2010 第 3 版), 日本医療機器学会, 東京, p26-39, 【臨床工学】

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. 永田洋一、山口昌一、白石義人： 麻酔科トラブルシューティング A to Z I - II 「術前、循環」 高崎眞弓 他（編）（株）文光堂、東京 pp60-63, 2010. 【麻酔科学】

#### (5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Nakagawa C, Shiraishi Y, Sato S. A case of conversion disorder showing transient hemiplegia after general anesthesia. J Anesthesia 24: 496, 2010 【麻酔科学】

インパクトファクターの小計 [ 0.837 ]

#### 4 特許等の出願状況

	平成22年度
特許取得数(出願中含む)	0件

#### 5 医学研究費取得状況

	平成22年度
(1)文部科学省科学研究費	0件 (0万円)
(2)厚生科学研究費	0件 (0万円)
(3)他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4)財団助成金	0件 (0万円)
(5)受託研究または共同研究	1件 (50万円)
(6)奨学寄附金その他(民間より)	1件 (50万円)

#### (5) 受託研究または共同研究

1. 静脈麻酔薬；ONO-2475 の治験（臨床第 I 相）の分担医師として

#### 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1)特別講演・招待講演回数	0件	2件
(2)シンポジウム発表数	0件	1件
(3)学会座長回数	0件	6件
(4)学会開催回数	0件	0件
(5)学会役員等回数	0件	10件
(6)一般演題発表数	2件	

#### (1) 国際学会等開催・参加

5) 一般発表

口頭発表

1. Mimuro S, Shiraishi Y, Sato S: Deterioration of myocardial injury due to dexmedetomidine administration after myocardial ischemia in the area of anesthesiology. The 27<sup>th</sup> congress of pan-pacific surgical association Japan chapter, 2010. 11.20-21, Honolulu, Hawaii, USA

2. Shiraishi Y: Educational lecture II. The 27<sup>th</sup> congress of pan-pacific surgical association Japan chapter, 2010. 11.20-21, Honolulu, Hawaii, USA

## (2) 国内学会の開催・参加

### 2) 学会における特別講演・招待講演

1. 白石義人：医薬品適正使用 WG の取り組みについて 麻酔と安全—安全委員会活動 日本麻酔科学会第 57 回学術集会、2010, 福岡
2. 森田耕司：高機能シミュレータ指導者養成講座、第 6 回日本医学シミュレーション学会総会、和歌山市、2011 年 2 月 11 日

### 3) シンポジウム発表

1. 森田耕司：オープン TCI、日本静脈麻酔学会、2010 年 10 月 29 日、弘前

### 4) 座長をした学会名

1. 白石義人 「医療経済」 第 37 回 日本集中治療医学会学術集会 2010, 広島
2. 白石義人 「一般演題」 第 20 回静岡県中部麻酔科医懇話会 2010 静岡
3. 白石義人 リフレッシャーコース 4：がん疼痛の診断と治療 日本ペインクリニック学会第 44 回大会 2010, 京都
4. 白石義人 ハイリスク症例 日本臨床麻酔学会第 30 回大会、2010. 徳島
5. 森田耕司：高機能患者シミュレータ・ワークショップ、日本臨床麻酔学会第 30 回大会（日本医学シミュレーション学会共催）、徳島市、2010 年 11 月 4 - 5 日
6. 森田耕司：高機能シミュレータ危機管理講座、第 6 回日本医学シミュレーション学会総会、和歌山市、2011 年 2 月 11 日

## (3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

白石義人：

1. 日本麻酔学会 代議員、安全管理委員会（委員、WG 長）、東海・北陸地方会代議員
2. 日本臨床麻酔学会 評議員
3. 日本ペインクリニック学会 評議員
4. 日本集中治療医学会 代議員
5. 日本蘇生学会 評議員
6. 日本臨床モニター学会 評議員

森田耕司：

1. 日本麻酔・集中治療テクノロジー学会評議員（平成 13 年より）
2. 日本静脈麻酔学会評議員（平成 13 年より）
3. 日本医学シミュレーション学会評議員（平成 17 年より）
4. 日本医学シミュレーション学会 高機能患者シミュレータ代表世話人（平成 18 年より）

## 8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数(レフリー数は除く)	0件	0件

## 9 共同研究の実施状況

	平成22年度
(1)国際共同研究	0件
(2)国内共同研究	1件
(3)学内共同研究	0件

### (2) 国内共同研究

1. 麻酔薬・筋弛緩薬の血中・効果部位の濃度を目標とする自動輸注ポンプ(TCI)の開発と公開、日本静脈麻酔学会、4月より継続中、静脈麻酔学会大会にてシンポジウム発表

## 10 産学共同研究

	平成22年度
産学共同研究	1件

1. 静脈麻酔薬；ONO-2475の治験(臨床第I相)、本学麻酔科学講座、小野薬品工業、4-11月、治験の分担、

## 12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

森田耕司：

1. 敗血症下におけるイソフルランの痛覚抑制と麻酔作用を位相相関(バイスペクトラル)インデックス(BIS)の推移を薬物動態モデルならびに薬効力学的モデルから解析した。(原著論文1編において)
2. 血液内濃度のみならず、脳【麻酔薬】や神経・筋接合部【筋弛緩薬】の濃度を目標値とする薬物動態モデルに基づく自動輸注ポンプの開発とそのオープンリソース化【公開アルゴリズムとして】

## 13 この期間中の特筆すべき業績、新技術の開発

1. 静岡県救急メディカルコントロール委員会作業部会、委員、1年間、年5回、救急救命士のメディカルコントロールに関する指導。教育、講習実施などについて話し合い策定する。
2. 救急救命士に対する薬剤投与のための講義、実習、OSCE試験官 3日
3. 病院における救急救命士の挿管実習(救命士1名あたり30名の挿管実習)、救命士10名
4. 静岡県消防学校挿管・薬剤投与実習講義
5. 地域貢献事業「医療の現場を知る」静岡県の高校生を対象とした手術部における麻酔科医、産婦人科医、小児科医の役割についての講義とシミュレータによる体験学習と見学、平成22年度3回開催、参加者70名(大学手術部にて、春季、夏季、冬季休業期間)
6. 日本医学シミュレーション学会において、高機能シミュレータ指導者養成講座としてシミュ

レータの内包する数値モデルの基礎とモデルパラメータの設定法について講演した。また、高機能シミュレータ危機管理講座のインストラクターとして活動した。

7. 日本臨床麻酔学会第30回大会（日本医学シミュレーション学会共催）において高機能患者シミュレータ・ワークショップにおいて危機的状況における麻酔管理のインストラクターならびにワークショップ開催責任者を務めた。